令和4年度　政務活動費支出整理簿

経費項目	視察研修費		（会派名　市民と市政をつなぐ会　　）
整理番号	月　日	支出額（円）	支　出　内　容
1	4月7日	4,000	地方議会研修会in沖縄「地方議会のオンラインとDX」※オンライン参加 参加費
2	5月8日	10,000	全国地方議会サミット2022 参加費
3	6月20日	5,000	マニフェスト大賞2022キックオフ研修会 参加費
4	7月14日	820	整理番号3の交通費　田無⇔早稲田
5	8月20日	10,000	全国政策研究集会2022 in静岡 参加費
6	10月11日	5,500	「地域から日本を変える」首長連続セミナー 参加費
7	10月13日	798	整理番号6の交通費　田無⇔千駄ヶ谷
8	1月18日	1,012	視察「シェアサイクルと自治体連携の可能性」の交通費　田無⇔浜松町
小　計		37,130	備　考
合　計		37,130	

領収書添付用紙

経費項目 ＊該当費目にOをつけてください。　　整理番号　1

調査研究費		【内容説明欄】
視察研修費	O	地方議会研修会 in 沖縄「地方議会のオンラインとDX」※オンライン参加 参加費
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		
【領収書等添付欄】		

領収データ - 【会場参加満員御礼】【オンライン参加可】2022年4月17日（日）-18（月）『地方議会研修会in沖縄～地方議会のオンラインとDX、この潮流に乗り遅れるな！基本から最前線まで！～』※沖縄開催（オンライン参加も可）

発行日	2023年1月21日
宛名	市民と市政をつなぐ会
合計	¥4,000
但し	チケット代金
ご注文日	2022年4月7日
注文番号	[redacted]
主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟 (ローカル・マニフェスト推進連盟)
イベント名	【会場参加満員御礼】【オンライン参加可】2022年4月17日（日）-18（月）『地方議会研修会in沖縄～地方議会のオンラインとDX、この潮流に乗り遅れるな！基本から最前線まで！～』※沖縄開催（オンライン参加も可）

Peatix

印刷する　　編集モード

2022年4月17日（日）-18日（月）沖縄現地開催（オンライン参加可）『地方議会研修会in沖縄～地方議会のオンラインとDX、この潮流に乗り遅れるな！基本から最前線まで！～』を開催します！

公開日 2022年2月17日

ローカル・マニフェスト推進連盟　沖縄勉強会（全国若手市議会議員の会共催）

地方議会研修会in沖縄～地方議会のオンラインとDX、この潮流に乗り遅れるな！基本から最前線まで！～

ローカル・マニフェスト推進連盟と全国若手市議会議員の会が初めてコラボし、 今年日本復帰50周年を迎える沖縄県から、最新の地方議会のオンライン化とDX、 善政競争を学ぶ研修会をお届けします。 今回の研修会はオンラインも併用して開催しますが、現地来訪者だけが参加できる視察企画もあるほか、著名なテレビ局の官邸キャップによる特別講演も現地で行うなど、盛りだくさんの２日間となっています。 ぜひご参加ください。

日　時：2022年4月17日（日）13時-16時、4月18日（月）09時30分-12時00分
開催地：沖縄県那覇市（オンライン参加可）

主　催：ローカル・マニフェスト推進連盟、全国若手市議会議員の会
共　催：早稲田大学マニフェスト研究所
後　援：沖縄県市議会議長会、沖縄タイムス社、琉球新報社

参加費：議員4,000円、一般2,000円（市民・自治体職員など）
※会場定員：先着80名【会場参加満員御礼】
※オンライン参加の場合も参加費は同額となります【オンライン参加の申込はまだ可能です】

お申込：Peatixサイトよりお申込（チケットをご購入）ください。

締　切：2022年4月10日（日）24時

議員・個人でのお申込みはPeatixにてお申し込みください。
※ 入金を確認後、ご参加方法等のご案内を「申込〆切以降」開催日前日までにメールで送付します。
※ 領収書についてはこちらをご確認ください> 領収書にアクセスする
※ チケットのキャンセル返金手続きについてはこちらをご確認ください> 主催者にチケットのキャンセルを依頼する
※ 議会や委員会単位でのお申込み（議会事務局で取りまとめていただく等）の場合には、請求書払いによるお申込みへの対応可能（セッティングを担当する事務局は傍聴可能）です。> 請求書払いによるお申し込み場合はこちら

【会場参加・現地開催にあたってのお願い（2022年4月11日）】

開催地沖縄県における新型コロナウィルス感染症の急拡大や、全国各地における感染状況、その拡大傾向等も踏まえまして、今回開催（実施）方法やその内容について慎重に検討を行い、以下のような対応（変更含む）にて開催することといたしました。

現地開催にあたっては、沖縄県内および全国の感染状況等を深刻に受け止めております。会場参加ご予定のみなさまにおかれましては、沖縄県「新型コロナウイルス感染症に関する各種情報について」や各地の状況をご確認いただきまして、ご参加のご判断・ご対応をお願いいたします。

感染再拡大防止と社会経済活動を継続するための対策期間（沖縄県対処方針）について（令和4年3月24日決定）
https://www.pref.okinawa.jp/site/chijiko/koho/corona/220104.html
「来訪者（沖縄への来訪を検討している）の皆様へ」などもご確認ください。

【プログラム（2022年4月11日現在）】

▼第一日　4/17（日）
※会場：那覇文化芸術劇場「なはーと」【オンライン配信いたします】

13時00分　開会＆挨拶
※開会前に那覇文化芸術劇場「なはーと」の紹介も行います。
・主催者挨拶
・事務連絡等

13時10分（30分）
基調講演「議会のDXで、善政競争をリードする」
　北川 正恭 氏（早稲田大学名誉教授）※オンライン登壇

13時40分（10分）
開催地挨拶　城間 幹子 氏（那覇市長）

13時50分（20分）
事例報告「中学生が創るこれからの条例　那覇市民としての政治参加を考える」
　伊波 勝之 氏（仲井真中学校・教諭）

14時10分（休憩20分）

14時30分（30分）
議会DX調査報告「議会DXの最前線～全国の事例から～」
　中村 健 氏（早稲田大学マニフェスト研究所・事務局長）※オンライン登壇

15時00分（20分）
議会DX実践報告１「今なぜオンライン議会が必要なのか～大津市議会の取り組みから～」
　清水 克士 氏（大津市議会・議会局長）

15時20分（15分）
議会DX実践報告２「地方議会DX実証実験・研究の取り組み」
　鈴木 一成 氏（宮崎市議会議長・DXプロジェクトチーム）

15時35分（15分）
議会DX実践報告３「情報格差を無くす社会へ～デジタル情勢の共有姿勢～」
　嵩元 なおも 氏（沖縄市議会デジタル推進議員連盟・事務局長）※オンライン登壇

15時50分　事務連絡
16時00分　終了

▼第二日　4/18（月）

現地視察（09時00分）：沖縄県議会見学（会場参加のみ／オンライン配信なし）
※新型コロナウィルス感染症感染拡大状況を受け、定員を設定（班分け）し、入れ替わり・交代制で実施いたします。
（移動　約20分）

特別講演（10時30分-12時00分）※会場：那覇市若狭公民館【オンライン配信いたします】
「DX時代に『伝える』ということ」
　篠原 裕明 氏（テレビ東京・官邸キャップ）

12時　終了（解散）

＝＝＝＝＝＝＝＝＝

【オプショナル現地視察（会場参加・希望者のみ）】（14時00分-15時30分）【オンライン配信なし】
沖縄市創業支援拠点Startup Lab Lagoon「情報関連の起業相談から人材育成のサポートまで」
※新型コロナウィルス感染症感染拡大状況を受け、現地視察をとりやめ、別途企画を実施いたします。

領収書添付用紙

経費項目 ＊該当費目に○をつけてください。　　整理番号　2

調査研究費		【内容説明欄】 全国地方議会サミット 2022 参加費
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		
【領収書等添付欄】		

領収データ - 全国地方議会サミット2022（5/12-13@早稲田大学大隈講堂）

発行日	2023年1月21日
宛名	市民と市政をつなぐ会
合計	¥10,000
但し	チケット代金
注文日	2022年5月8日
注文番号	[redacted]
主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟 (ローカル・マニフェスト推進連盟)
イベント名	全国地方議会サミット2022（5/12-13@早稲田大学大隈講堂）

Peatix

印刷する　　編集モード

【留意事項】
1. この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
2. この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

全国地方議会サミット2022

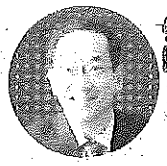
2022 05.12(木) ▶ 05.13(金)　早稲田大学大隈講堂 会場先着 オンライン配信併用 300名様

多様な議員、参画、政策形成

デジタルで広がる・つながる・深まる議会改革

いま地方議会には、新型コロナウイルス感染症をはじめ多様な課題の解決へ向けて、多様な意見の集約と政策への反映が求められています。デジタル活用においては、委員会のオンライン開催に関する全国市議会議長会による参考条例が示されるなど、その機運が高まっています。また、政治分野における男女共同参画の推進も求められるなど、議会の多様性の確保への体制の整備も迫られています。
専門家や当事者の議論に加え、各地の議会から事例紹介も交えて大いに提起、発信します。是非ご参加ください。

Day1 <5/12（木）> 13:00-18:00 登壇者紹介



チーム議会で取り組む「自己決定・自己責任」の地方自治
元三重県知事
北川 正恭

一人一人の多様な幸せを実現するデジタル庁のミッション
（動画出演）
デジタル大臣
牧島 かれん

住民自治と多様な議員で構成された活力ある議会
大正大学社会共生学部教授
江藤 俊昭

各地からオンライン登壇!! オンライン議会の展開事例
月刊「ガバナンス」編集主幹
千葉 茂明

多様な議員の一般質問を議会の政策形成へ
法政大学法学部教授
土山 希美枝

Day2 <5/13（金）> 10:00-16:00 登壇者紹介

コロナ2年の経験をどう活かしていくか!?
法政大学総長
廣瀬 克哉

地方議会における男女共同参画の推進と実践
日本大学法学部教授
林 紀行

速報！議会改革度調査 ランキングとトレンド
早稲田大学マニフェスト研究所事務局長
中村 健

Z世代にも届く！ デジタルを活用した広報・広聴
株式会社POTETO Media代表
古井 康介

いまこそ問われる！ 地方自治と議会の役割
元総務大臣
片山 善博

ZEN代表
小林 真子

ZEN副代表
吉永 一輝

※登壇者やプログラム、開催方法等は変更になる可能性があります。

詳細プログラム 開催概要は裏面へ

主催・共催
ローカル・マニフェスト推進連盟
Manifesto Awards
早稲田大学 マニフェスト研究所

後援
全国市議会議長会 National Association of Chairpersons of City Councils
全国町村議会議長会 National Association Chairpersons of Town and Village Assemblies

全国地方議会サミット2022 プログラム

最新情報は特設サイトをご確認ください
http://maniken.jp/summit/

第1日目 2022.05.12 THU 13:00～18:00

13:00-13:10 オープニング

13:10-13:30 チーム議会で取り組む「自己決定・自己責任」の地方自治
北川 正恭 早稲田大学名誉教授／元三重県知事

13:30-13:45 一人一人の多様な幸せを実現する デジタル庁のミッション
※動画出演 牧島 かれん デジタル大臣

13:50-15:00 住民自治と多様な議員で構成された活力ある議会
江藤 俊昭 大正大学社会共生学部教授
寺沢 さゆり 長野県長野市議会 議長／全国市議会議長会 副会長
伊波 篤 沖縄県読谷村議会 議長／全国町村議会議長会 理事

15:10-16:45 各地からオンライン登壇も!オンライン議会の展開事例 各地からオンライン登壇予定
千葉 茂明 月刊「ガバナンス」編集主幹／コーディネーター
清水 克士 滋賀県大津市議会 議会局長 「なぜオンラインが必要なのか一大津市議会の経験から」
岩崎 弘宜 茨城県取手市議会事務局次長 「こんなこともできる!オンライン一取手市議会デモテックへの取り組みから」
(実践紹介) 中野 智基 愛知県知立市議会 議長 「議会オンラインへの対応と市民とつながる・深まる議会改革」
(実践紹介) 松尾 徳晴 福岡県春日市議会 議長 米丸 貴浩 福岡県春日市議会議員／広報広聴委員長
「市民とつながる―『議員と語ろう 議会報告会』オンライン」

16:55-17:55 多様な議員の一般質問を議会の政策形成へ 各地からオンライン登壇予定
土山希美枝 法政大学法学部教授／コーディネーター
(実践紹介) 西原 浩 北海道別海町議会 議長 「一般質問検討会議から議会の政策形成へ」
(実践紹介) 青野 敏 北海道鷹栖町議会議員 片山 兵衛 北海道鷹栖町議会議員
「一般質問でまいたタネを市民と共有し議会の政策形成へつなげる」

17:55-18:00 クロージング

第2日目 2022.05.13 FRI 10:00～16:00

10:00-10:05 オープニング

10:05-10:50 コロナ２年の経験をどう活かしていくか!?
廣瀬 克哉 法政大学総長

11:00-12:00 地方議会における男女共同参画の推進と実践 各地からオンライン登壇予定
林 紀行 日本大学法学部教授／コーディネーター
(実践紹介) 永野 裕子 東京都豊島区議会議員 出産議員ネットワーク呼びかけ人 「出産・子育てと議員活動の両立両立支援のための体制整備」
(実践紹介) 髙橋たい子 宮城県柴田町議会 議長 平間奈緒美 宮城県柴田町議会 副議長
「正副女性議長が取り組む柴田町議会の男女共同参画の推進」

昼休憩

13:00-13:45 速報!議会改革度調査ランキングとトレンド
中村 健 早稲田大学マニフェスト研究所事務局長

13:45-14:45 Z世代にも届く! デジタルを活用した広報・広聴
古井 康介 株式会社POTETO Media 代表
小林 真子 ZEXT 代表
吉永 一輝 ZEXT 副代表

14:55-15:40 いまこそ問われる! 地方自治と議会の役割
片山 善博 大正大学社会共生学部 教授／元総務大臣

15:40-16:00 サミット宣言・クロージング

※プログラムは予告なく変更になる場合があります。予めご了承ください。

全国地方議会サミット2022 開催概要

最新情報は特設サイトをご確認ください
http://maniken.jp/summit/

日時	2022年5月12日（木）13時から18時まで 13日（金）10時から16時まで
会場	早稲田大学大隈記念講堂／オンライン配信あり 〒169-0071 東京都新宿区戸塚町1-104
対象	議員、議会事務局・自治体職員、市民等
参加費	議員10,000円　一般（職員・市民等）5,000円 ※いずれも税込。　※2日間を通しての金額です。
申込期限	2022年4月28日（木）
定員	会場先着300名様　オンラインは定め無し ※感染症対策のため会場の定員を制限して開催します。
主催者	主催：ローカル・マニフェスト推進連盟、マニフェスト大賞実行委員会 共催：早稲田大学マニフェスト研究所 後援：全国市議会議長会、全国町村議会議長会
問合せ	事務局 早稲田大学マニフェスト研究所 担当：亀井、山内 電話番号：03-6709-6739　メール：mani@maniken.jp

お申込

ウェブよりお申し込み　こちらからお申し込みください
http://maniken.jp/summit/

議会事務局にて取りまとめてのお申し込みの場合、
下記FAX申込書より請求書払いも承ります。

FAX　03-6709-6752
早稲田大学マニフェスト研究所宛

全国地方議会サミット2022参加申込書（FAX専用）

参加日 ※必須
□ 両日（5月12日・13日）
□ 第1日目（5月12日（木））のみ
□ 第2日目（5月13日（金））のみ

参加方法 ※必須
□ 会場（先着300名様）
□ オンライン（定員無し）
注：開催方法は新型コロナウイルス感染症の影響によって変更となる場合があります。

参加人数　議員（10,000円／人）：　　名様

参加人数　一般（5,000円／人）：　　名様

参加者氏名・所属
※必須
参加される方全員の氏名と所属を記入してください。
【例：姓名（●●議会議員）】

電話番号
※必須

メールアドレス
※必須

【注意】こちらに記入のアドレス宛に当日のご案内等を送付します。参加者が複数名で、皆様個別にご案内が必要な場合は、氏名と合わせて全員分のメールアドレスを記入してください（別紙可）。

▼ **参加申込書を受領後、事務局より「請求書」を郵送します。請求書発行に必要な事項を記入してください。**

請求書お宛名※必須　　様

請求書但書・日付

【注意】原則として、但し書は「全国地方議会サミット2022（5月12日・13日）参加費として」／日付は請求書発行日を記載します。別に指定がある場合のみご相談ください。

請求書郵送先　〒　　－
住所：
御担当者名：　　様宛
※必須

※上記御担当者様の電話番号：
メールアドレス：

<問合せ先> 事務局（早稲田大学マニフェスト研究所　担当：亀井・山内）
電話：03-6709-6739　FAX：03-6709-6752 メール：mani@maniken.jp

領収書添付用紙

経費項目 ＊該当費目に○をつけてください。　　**整理番号** 3

調査研究費		【内容説明欄】
視察研修費	○	マニフェスト大賞 2022 キックオフ研修会 参加費
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		
【領収書等添付欄】		

領収データ - 2022/7/14マニフェスト大賞2022キックオフ研修会（@早稲田大学＆オンライン配信）「ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」

発行日	2023年1月21日
宛名	市民と市政をつなぐ会
合計	¥5,000
但し	チケット代金
注文日	2022年6月20日
注文番号	[redacted]
主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟 (ローカル・マニフェスト推進連盟)
イベント名	2022/7/14マニフェスト大賞2022キックオフ研修会（@早稲田大学＆オンライン配信）「ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」

Peatix

印刷する　　編集モード

2. この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

7.14(木)
13:00-17:00
早稲田大学 井深大記念ホール

マニフェスト大賞 2022 キックオフ研修会

「ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」

本研修会では、昨年マニフェスト大賞グランプリを受賞した出産議員ネットワーク・子育て議員連盟をはじめ、首長部門のマニフェスト推進賞受賞の壬生 照玄・長野県高森町長、ローカル・マニフェストを軸にした改革を進めてきた会派、そして議会改革のトップランナーたちが登壇し、「ローカル・マニフェストで地域から日本を変える」をテーマに多いに発信・提起します。

基調講演
- 「マニフェスト 20 年～ローカル・マニフェストで地域から日本を変える～」
  早稲田大学名誉教授／元三重県知事　北川 正恭

実践発表 昨年グランプ
- 「出産・子育てが政治参画の障壁とならない議会の法規・環境整備の取り組み」
  出産議員ネットワーク・子育て議員連盟

実践発表 ローカルマニフェスト
- 「住民との“約束”をチェックする―町長マニフェストの評価・検証－」
  長野県高森町長　壬生 照玄
- 「マニフェストを起点とした新たな市民との政策形成」　よこはま自民党
- 「会派マニフェストと政策形成の PDCA サイクル推進」　よこすか未来会議
- 「会派マニュフェストの作成意義と効果について」　公明党岡山市議団

実践発表 議会改革
- 「ICT・AI・住民・議会による新しい民主主義を推進」　取手市議会
- 「『議案のカルテ』はインターネット上の議会報告会 ―“議案ごと”にカルテを制作・公開」　町田市議会

実践発表 シティズンシップ
- 「公開討論会の拡がりとシティズンシップ推進 ～取り組みの成果と展望～」　公益社団法人日本青年会議所ベビーファースト委員会 委員長 新田 洋太朗

※ プログラム、開催手法等は変更になる場合があります。予めご了承ください。

日時　2022 年 7 月 14 日（木）午後 1 時から 5 時まで
場所　早稲田大学 井深大 記念ホール（オンライン併用）
定員　会場は先着 200 名様
参加費　議員：5,000 円　議員以外：2,000 円　いずれも税込
主催　マニフェスト大賞実行委員会、ローカル・マニフェスト推進連盟
共催　早稲田大学マニフェスト研究所
申込み　ウェブサイトより申込（締切 7 月 11 日）　http://www.local-manifesto.jp/gikaigiin/
問合せ　マニフェスト大賞 事務局　山内、亀井　mani@maniken.jp / 03-6709-6739

下記の QR コードを読み取るとウェブサイトにリンクします

マニフェスト大賞
7/1 から応募開始
マニフェスト大賞
Manifesto Awards

整理番号 4

支　払　証　明　書

1　金　　額　　820　　円

2　支 払 先　　西武鉄道、東京メトロ

3　件　　名　　マニフェスト大賞2022キックオフ研修会
参加のための交通費
田無⇔早稲田

4　支払年月日　　令和４年７月14日

上記のとおり支払したことを証明します。

会　派　名　　市民と市政をつなぐ会
代　表　者　　田村　ひろゆき　[redacted]

領収書添付用紙

経費項目 ＊該当費目に○をつけてください。　　整理番号　5

調査研究費		【内容説明欄】
視察研修費	○	全国政策研究集会 2022 in 静岡 参加費
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		

【領収書等添付欄】

全国政策研究集会 2022 in 静岡
領　収　証

市民と市政をつなぐ会　様

10,000円

但し　政策研究集会参加費として

2022年8月20日

自治体議員政策情報センター　虹とみどり

〒700-0971 岡山市北区野田5-8-11 かつらぎ野田ビル2F

TEL 086-244-7723　FAX 086-244-7724

【留意事項】

1. この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
2. この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

参加費(1日でも2日でも)

- 政策情報センター会員議員――― 5,000円
- 非会員議員(区市議・都道府県議) ―10,000円
- 首長――――――――― 5,000円(協賛費)
- 小規模自治体議員(5万人以下)――3,000円
- 町村議(会員、非会員問わず)――3,000円
- 一般――――――――――― 1,000円
- 学生――――――――――― 無料

※オンラインの場合も参加費は同じです。

申し込み方法

右QRコードから
お申し込みください。

オンラインは当日まで
お申し込み頂けます。

オンライン・リアル募集中　HPより

静岡市民文化会館

〒420-0856　静岡市美区駿府町2番90号
TEL：054-251-3751　FAX：054-251-9219
https://www.scch.shizuoka-city.or.jp/

電車

- 東京駅・名古屋駅から東海道新幹線ひかり号でJR静岡駅まで約1時間
- 新大阪駅から東海道新幹線ひかり号でJR静岡駅まで約2時間
- JR静岡駅北口より徒歩25分・タクシーで10分。静鉄バス利用して10分
  (「市民文化会館入口」下車。バス停より徒歩1分)
- 静岡鉄道新静岡駅又は日吉町駅より徒歩10分

バス

JR静岡駅北口バス乗り場より、下記の路線をご利用下さい。
【5番のりば】こども病院線、屋瀬線、上足洗線
【6番のりば】水梨東高線、竜爪山線、東部団地線、北街道線
静岡駅前 → 新静岡 → 市民文化会館入口（バス停より徒歩1分）

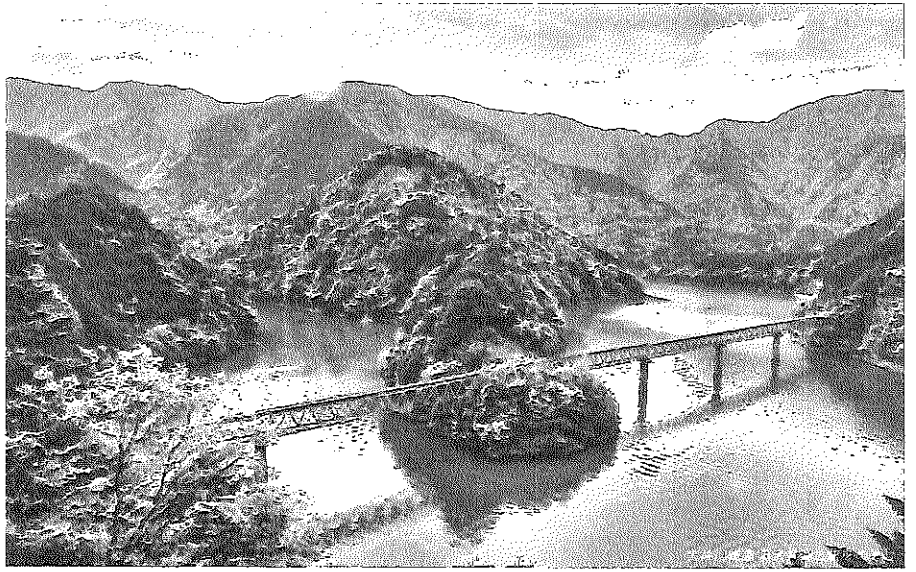
お車

東名静岡ICより約25分
※お車でお越しの際は、静岡市民文化会館前駐車場又は近隣の駐車場をご利用下さい。
※なるべく公共の交通機関をご利用いただきますようご協力をお願い申し上げます。

参加のお申し込み、お問い合わせは

自治体議員政策情報センター
虹とみどり
http://www.greens.gr.jp/jouhou/index.html
〒700-0971岡山市北区野田5-8-11かつらぎ野田ビル2F
自治体議員政策情報センター・虹とみどり
電話086-244-7723 Fax086-244-7724
jichitaigiinjouhou@gmail.com

新型コロナウイルス感染症への対応で現場参加、プログラムなど変更の可能性があります。ご了承ください。



第14回 全国政策研究集会 2022 IN 静岡

8/20 土曜日　8/21 日曜日
オンラインは当日まで
静岡市民文化会館

コロナ危機、気候危機、ロシアのウクライナ侵略の中で分権・自治・分散型社会を考える

基調講演
「リニア巨大プロジェクトと大井川の水、南アルプスの自然」
難波喬司さん（前静岡県副知事）

基調講演
「議会改革とジェンダー平等・民主主義」
三浦まりさん（上智大学法学部教授）

分科会1　少数派議員への懲罰と本来の地方議会のあり方を問う
江藤俊昭さん（大正大学社会共生学部教授）
上原公子（元国立市長）
柳崎清彦（中央学院大学社会システム研究所教授・元我孫子市長）
報告：山下区美子沼津市議、江本浩二沼津市議

分科会2　AIを活用した分散型社会の構想とリニアがめざす「メガポリス構想」
福田幸二さん（株式会社日立製作所 研究開発グループ 先端AIイノベーションセンタ/主任研究員）

分科会3　有機農業で変える地球の未来
～「みどりの食料システム戦略」を考える～
吉田茂さん（NPO法人しずおかオーガニックウェブ(SOW)）

分科会4　気候危機～循環型社会を考える～
原田哲也さん（特定非営利活動法人　環境エネルギー政策研究所（ISEP）所長）
藤田潤さん（静岡市環境局グリーン政策室）

主催/全国政策研究集会2022in静岡実行委員会
協力/自治体議員政策情報センター 虹とみどり　平和・立憲・人権をつなぐ全国自治体議員会議　全国フェミニスト議員連盟

第14回 全国政策研究集会 2022 静岡

コロナ危機、気候危機、ロシアのウクライナ侵略の中で 分権・自治・分散型社会を考える

8/20 土曜日 受付 12:30〜

挨拶
12:50〜
上原公子さん
（元国立市長、 自治体議員政策情報センター長）

基調講演 リニア巨大プロジェクトと大井川の水、南アルプスの自然
13:00〜14:20

難波喬司さん（前静岡県副知事）

静岡県は2018年にリニア中央新幹線南アルプストンネル工事を推進するJR東海に対して、8市2町の62万人に影響する大井川の水の減少、日本列島の屋台骨・南アルプスの生態系への影響をテーマに47項目の公開質問状を提出し全面情報公開のもと県環境保全連絡会議を開催してきた。
環境影響評価書のずさんさが明らかになり1都6県の中で静岡県だけが着工できていない。
一方コロナ禍、テレワークなど従来の生活労働スタイルの変化、分散型社会の可能性によりリニア新幹線の必要性そのものへの疑問が拡大している。静岡県の考え方を媒介にリニア巨大プロジェクトの是非を考える。

難波喬司

基調講演 議会改革とジェンダー平等・民主主義
14:30〜16:00

三浦まりさん（上智大学法学部教授）

カリフォルニア大学バークレー校にてPh.D.（政治学）取得。
東京大学社会科学研究所後期研究員を経て現職。
専門は現代日本政治論、福祉国家論、ジェンダーと政治。

議会で多数派による少数派排除は、多様性を重視する議会の自殺行為である。
特に女性議員が被りやすいハラスメントやいじめの実態と防止に向けて、市民に開かれた議会への改革が求められる。
多様性を重視する議会にこそジェンダー平等と民主主義を取り戻す必要がある。

三浦まり

1分科会 16:30〜18:30
少数派議員への懲罰と本来の地方議会のあり方を問う

江藤俊昭さん （大正大学社会共生学部教授）
上原公子（元国立市長）
福嶋浩彦（中央学院大学社会システム研究所教授・元我孫子市長）
報告：山下晶美子沼津市議、江本浩二沼津市議

静岡県内の議会で実際に起きた事案を問題提起とし、全国で起きている少数会派議員への「懲罰」、多数派による少数派への抑圧事件を取り上げる。首長と議会の馴れ合い、少数派の排除、建設しない議会など、地方議会は本来の使命を果たしているのだろうか。議会のあり方、議会事務局の役割、市民やメディアとの関係などを議論する。

江藤俊昭

上原公子

福嶋浩彦

2分科会 16:30〜18:30
AIを活用した分散型社会の構想とリニアがめざす「メガポリス構想」

福田幸二さん（株式会社日立製作所 研究開発グループ 先端AIイノベーションセンタ/主任研究員）

京都大学こころの未来研究センターと日立製作所研究開発グループによるAIを活用した政策提言とコロナパンデミックが勃発した状況における課題としての「密を避ける」は「都市集中型社会」から「地方分散型社会」への転換の必要性という点で大きく変なっている。ただ、AIは手段であって目的ではない。この視点を持ちながら、2050年に向けた2万通りの未来シュミレーションから人口、地域の持続可能性や格差、健康、幸福の分野での東京一極集中でない多極分散型社会、またリニア新幹線によるメガポリス構想について考える。

福田幸二

8/21 日曜日 受付 9:15〜

3分科会 9:30〜11:20
有機農業で変える地球の未来 〜「みどりの食料システム戦略」を考える〜

吉田茂さん（NPO法人しずおかオーガニックウェブ(SOW)）

農水省が2021年に発表した「みどりの食料システム戦略」。2050年までに農林水産業のCO2ゼロエミッション化、有機農業の面積を100万ha（全体の２５％）に拡大といった１４の目標が掲げられている。有機農業化は気候危機の打開策になるか。パンデミック危機対応にはコミュニティでの通帯経済や地方自治と食料主権がカギとなる。地方自治体での有機給食、公共調達にも期待が高まる。

吉田茂

4分科会 9:30〜11:20
気候危機〜循環型社会を考える〜

飯田哲也さん（特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所（ISEP）所長）
廣田潤さん（静岡市環境局グリーン政策室）

気候危機とエネルギーにおいて、EUタクソノミーが天然ガスと原子力発電を移行期に必要としました。またロシアのウクライナ侵攻の影響も懸念されます。国内においては、国のエネルギー政策や自治体も含めた地球温暖化防止対策の実効性が問われます。そこで、太陽エネルギーへの転換を必要条件とした持続可能な社会に変えていく、その可能性を考えます。

飯田哲也

廣田潤

オプショナルツアー

浜岡原子力発電所の現状と取組みを視察する

浜岡原発が停止してから11年。中部電力においては津波・重大事故への安全対策と1・2号機の廃炉作業や新規制基準への対応が行われています。原発登地内施設、防波堤やPR館などを見学予定。
（必要書類あり）

8/19(金)
集合 12:00(JR掛川駅南口)
現地 13:10〜15:40
解散 16:30(JR掛川駅南口)
参加費 5,000円
定員 20名
申込締切 7月31日まで

[募集は終了しました]

南アルプス・リニア建設予定地を訪問する

南アルプスリニアトンネル工事が静岡県で大きな政治争点となっています。雄大な自然、林道整備、360万m³の残土置き場、大井川の水源への影響など現地で市民団体の方からお話を聞きます。

※貸し切りタクシーで往復12時間、長距離ツアーになります。途中下車できません。

8/22(月)
集合 6:30(JR静岡駅)
解散 18:30(JR静岡駅)
参加費 15,000円
定員 10名
申込締切 7月31日まで

[募集は終了しました]

※内容、価格などは変更の可能性があります。

整理番号　5

研修報告書

研修会名：全国政策研究集会 2022 in 静岡
日時：2022 年 8 月 20 日（土）13：00～8 月 21 日（日）11：20
場所：静岡市民文化会館（静岡県静岡市葵区）

内容：
8 月 20 日、21 日の 2 日間にわたり、静岡市民文化会館で全国政策研究集会 2022 in 静岡が開催された。テーマは「コロナ危機、気候危機、ロシアのウクライナ侵略の中で分権・自治・分散型社会を考える」。会場参加とオンライン参加の併用で、主催団体の発表によれば 150 名以上の参加があったとのこと。今回は感染状況も踏まえ、対策を講じたうえで現地参加とした。

1 日目は、基調講演として「リニア巨大プロジェクトと大井川の水、南アルプスの自然」と「議会改革とジェンダー平等・民主主義」が行われた。1 日目後半と 2 日目は分科会が行われ、「少数派議員への懲罰と本来の地方議会のあり方を問う」と「気候危機～循環型社会を考える～」に参加した。

■基調講演「リニア巨大プロジェクトと大井川の水、南アルプスの自然」
静岡県環境部理事で南アルプス環境保全担当の織部康宏氏より、リニア中央新幹線事業の概要、南アルプストンネル(静岡工区)の位置や、工事により考えられる影響についての説明があった。そのうえで、住民が感じる影響の大きさと、事業者が認識している影響の大きさには大きな乖離があり、双方の気づきと信頼によりこの乖離を小さくしていく「リスクコミュニケーション」が重要であるという点が指摘された。これは、リニア中央新幹線事業に限った話ではなく、あらゆる事業を進めていく際の住民との対話において意識しなければならない視点であると感じた。

■基調講演「議会改革とジェンダー平等・民主主義」
上智大学法学部教授の三浦まり氏より、多様性に欠ける議会がなぜ問題なのか、議会ハラスメントがなぜ問題なのかについて、特に女性の参画が十分に進んでいない現状を踏まえての話があった。内閣府が行った調査によれば、議員活動や選挙活動中に、有権者や支援者、議員等からハラスメントを受けたかという質問に対して、男性の 32.5%、女性の 57.6%が受けたと回答している。気づかずやっている場合と、ハラスメントだとわかって(誇示するために)やっている場合があり、政治参画の意欲を削ぐ行為で軽く済まされる問題ではないと指摘があった。防止策として、内閣府の研修動画等を活用した繰り返しの研修、政治倫理

条例やハラスメント防止条例の制定、相談窓口の設置などが挙げられた。西東京市議会においても、ハラスメントのない議会を目指すのは当然のことであり、繰り返し認識を新たにすることで、政治参画を阻害するようなことがないようにしなければならないと感じた。

■分科会「少数派議員への懲罰と本来の地方議会のあり方を問う」
大正大学社会共生学部教授の江藤俊明氏より、議会の本質は多様性に基づいた公開と討議にあり、多様性を排除するような行為は議会の存在意義の否定になるとの話があった。元我孫子市長の福嶋浩彦氏からは、首長と議会のなれ合いについて厳しい指摘があり、議員間討議こそ議会の命で、それぞれ違う考え方があるなら議論をすべきだという話があった。元国立市長の上原公子氏からは、古参の議員から「議会は表でやるんじゃなくて裏でやるんだよ」と言われたが、表で堂々と議論し、批判すべきとの話があった。
そのうえで、静岡県沼津市議会で起こった懲罰問題についての紹介があり、議論を行った。議会で行われた議論が、多数派によって抑え込まれるような事例は全国の自治体で起こっており、市民が監視していくことが大切であるとの話になった。

■分科会「気候危機～循環型社会を考える～」
環境エネルギー政策研究所所長の飯田哲也氏より、再生可能エネルギーのコストはこれまで高いと思われてきたが、急激に下がっていること、パリ協定まではCO_2を減らすことは経済を落とすことと思われていたが、再生可能エネルギーの普及促進により経済を落とすことなくエネルギーを使っていくことができるなど、パラダイム転換が起きていることが紹介された。
次いで、静岡市環境局環境創造課の廣田潤氏から、静岡市の地球温暖化対策について、市域から排出される温室効果ガスの現状、地球温暖化対策実行計画の内容が説明された。これまでに取り組んできた主な施策として、清掃工場の余剰電力を公共施設に供給すること、市内再エネ電力を活用して一部庁舎をRE100としていること、森林整備や間伐材を積み木にして市内子ども園等に配布していることなどが紹介された。
本市に限らず2050年カーボンニュートラルはあらゆる自治体が取り組まなければならない課題であり、引き続き先進事例等を積極的に学んでいきたい。

領収書添付用紙

経費項目 ＊該当費目に○をつけてください。　　整理番号　6

調査研究費		【内容説明欄】
視察研修費	○	「地域から日本を変える」首長連続セミナー 参加費
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		
【領収書等添付欄】		

領収データ - 「地域から日本を変える」首長連続セミナー / 第２回 松尾 崇 鎌倉市長「世界に誇れるまち鎌倉」

発行日	2023年1月21日
宛名	市民と市政をつなぐ会
合計	¥5,500
但し	チケット代金
注文日	2022年10月11日
注文番号	[redacted]
主催者	一般社団法人地域から日本を変える（「地域から日本を変える」首長連続セミナー）
イベント名	「地域から日本を変える」首長連続セミナー / 第２回 松尾 崇 鎌倉市長「世界に誇れるまち鎌倉」

Peatix

印刷する　編集モード

ください。
2. この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

一般社団法人
地域から日本を変える

News & Information

「地域から日本を変える」首長連続セミナー / 第２回 松尾 崇 鎌倉市長「世界に誇れるまち鎌倉」

2022年10月13日 2022年10月29日 事務局

「地域から日本を変える」首長連続セミナー
第２回　「世界に誇れるまち鎌倉～市役所移転と新駅構想。鎌倉新時代を市民と企業との共創で切り拓く～」

日　時：２０２２年１０月１３日（木）１８：３０～２０：００（１８：１５受付開始）
場　所：東京体育館 第二会議室（〒151-0051東京都渋谷区千駄ヶ谷1-17-1 / https://goo.gl/maps/DUW1ieLRpFBBZYfZ9）
講　師：鎌倉市長　松尾　崇

行政、企業、NPO、市民が連携し、持続可能なまちをつくっている鎌倉市。カマコンバレーで有名な地元ＩＴ企業の取り組みはその象徴とも言えます。さらに、東海道線の新駅設置が正式に決まり、その周辺に市役所・消防署を移転し、スポーツ施設を整備するなど、新たなまちづくり構想を描いています。ＳＤＧｓが叫ばれる今、共創による共生のまちづくりを進める松尾市長が鎌倉の未来を熱く語ります。

参加費：５５００円（消費税込み）
※法人会員/個人会員の方は年会費に含みますので、無料の会員チケットをご選択下さい。
※法人会員は２名まで無料です。参加者毎に1枚ずつお申し込みください。

交流会：８０００円
※セミナー後、別会場にて飲食付きの交流会を開催します。当日現地でのお支払いとなります。
※コロナの状況等により中止の可能性がございます。

次回以降の予定講師：
第３回　埼玉県知事　大野 元裕（2022/11/7(月) 18:30～20:00）
第４回　神奈川県知事　黒岩祐治（2022/12/8(木) 18:30～20:00）

＜ご参加の方へ（必ずお読みください）＞
※誠に申し訳ございませんが、定員に達した場合はご購入後にキャンセルさせて頂く可能性がございます。なお定員に達した場合、年間会員様を優先的にご案内させて頂くことがございます。（本イベントの定員は約５０名となります。）
※当日セミナー会場内での録音、録画は禁止とさせていただきます。

整理番号 7

支　払　証　明　書

1　金　　額　　798　　円

2　支 払 先　　西武鉄道、ＪＲ東日本

3　件　　名　　「地域から日本を変える」首長連続セミナー
参加のための交通費
田無⇔千駄ヶ谷

4　支払年月日　　令和４年　10月　13日

上記のとおり支払したことを証明します。

会　派　名　　市民と市政をつなぐ会
代　表　者　　田村　ひろゆき　[redacted]

整理番号　8

支　払　証　明　書

1　金　　額　　1,012　　円

2　支 払 先　　西武鉄道、ＪＲ東日本

3　件　　名　　視察「シェアサイクルと自治体連携の可能性」
参加のための交通費
田無⇔浜松町

4　支払年月日　　令和５年　１月　18日

上記のとおり支払したことを証明します。

会　派　名　　市民と市政をつなぐ会
代　表　者　　田村　ひろゆき　[redacted]

2023年1月18日（水）合同視察「シェアサイクルと自治体連携の可能性」のご案内

公開日 2023年1月8日

合同視察「シェアサイクルと自治体連携の可能性」のご案内

新たな交通サービスとして注目を集めているのがシェアサイクルです。行動範囲が広がるだけでなく、環境にも配慮をした新たなインフラとしてもニーズが高まり各地域で広がっています。

また、シェアサイクルの交通データをもとに自治体の交通政策を検討することやシェアサイクルのバッテリーを災害時に活用するなどの政策展開も可能で自治体との連携も求められています。

今後は、道路交通法改正により特定原付（特定小型原動機付自転車/電動キックボードなどの小型電動モビリティー）のシェアサービスの検討も始まるなど自転車以外の新たな交通サービスも始まる可能性も出てきています。

一方で、地域によりシステムが異なることや貸出し場所の偏在があるなどの課題が残されています。
そこで、より新たな交通サービスとしてのシェアサイクルの現状と自治体連携の可能性や今後の新たな交通サービスについて視察研修を企画しました。

参加費は無料です。どうぞご参加ください。

■主催：ローカル・マニフェスト推進連盟

■日時：2023年1月18日（水）16時30分～18時

■視察先：OpenStreet株式会社
東京都港区海岸一丁目7番1号　東京ポートシティ竹芝オフィスタワー35階

■視察参加対象者：ローカル・マニフェスト推進連盟会員、非会員も参加可能

■参加費：無料

■申込み：下記グーグルフォームへご記入のうえ送信ください。おって、集合場所などをお知らせします。
https://forms.gle/bRrJEj5VZ5riT8DCA
※締切：1月16日（月）13時

▼▼▼▼▼
参照サイト
https://www.hellocycling.jp/
▲▲▲▲▲

お問い合わせ先